

2024年度「社会共生実習」

個別履修相談会 ※事前申込不要

プロジェクト別での履修相談会を下表のとおり開催します

社会学部全3学科が共同運営している連携型の実習科目「社会共生実習」の個別履修相談会を開催します。どのプロジェクトにエントリーしようか悩んでいる方はぜひ、担当教員に直接相談できるこの機会を利用してください。

プロジェクト名	担当者	1/11(木)	1/12(金)	1/15(月)	1/16(火)	1/17(水)	1/18(木)	1/19(金)
①多文化共生のコミュニティ・デザイン ～定住外国人にとって住みやすい日本になるには？～	川中先生						12:30-13:30 【社会共生 実習支援室】	
②コミュニティの情報発信！ レク龍プロジェクト	久保先生						12:45-13:15 【社会共生 実習支援室】	10:00-10:45 12:45-13:15 【社会共生 実習支援室】
								11:00-12:30 【6-B108L】
③農福連携で地域をつなぐー 「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」	坂本先生		活動報告会 終了後-16:45 【社会共生 実習支援室】	15:15-16:45 【社会共生 実習支援室】				
④お寺の可能性を引き出そう！ ー社会におけるお寺の役割を考えるー	猪瀬先生	inose-y@soc.ryukoku.ac.jp		(相談会は開催せず、随時、連絡先への問い合わせに対応します)				
	古莊先生	tfuruso@soc.ryukoku.ac.jp						
⑤いくつになっても、出かけられる！ ～高齢者を元気にする介護ツアー企画～	高松先生		活動報告会 終了後-15:00 【社会共生 実習支援室】		12:30-15:00 【社会共生 実習支援室】			12:30-13:30 【社会共生 実習支援室】
⑥障がいがある子どもたちの放課後支援	土田先生					12:30-13:30 【社会共生 実習支援室】		
⑦自治体をPRしてみる！	岸本先生	12:30-13:00 【3-306】	活動報告会 終了後-13:10 【3-306】					

<2024年度「社会共生実習」を受講するまでのスケジュール>

1/12(金) 2限

・活動報告会への参加 (任意)

1/11(木)～1/19(金)

・個別履修相談会への参加 (任意)

1/12(金)～2/29(木) 15:00

・事前登録 (ポータルサイトのアンケートにて)

※第3希望までエントリーできます

3月上旬

・受講可否判定
・結果発表

履修

※上記の時期や内容について、詳しくはポータルサイトにてお知らせいたします。

※各種変更する場合がございますが予めご了承ください。

問い合わせ先

社会学部教務課 社会共生実習支援室 6号館1階106号室

・連絡先 TEL: 077-544-7230 E-mail: co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

・開室時間 月・水～金: 9:00～17:00 火: 10:45～17:00

社会共生実習
Webサイト2024年度募集要項/
プロジェクト紹介冊子

<2024年度「社会共生実習」プロジェクト一覧>

①多文化共生のコミュニティ・デザイン

～定住外国人にとって住みやすい日本になるには？～

担当者 川中 大輔



京都の在日コリアンの方々との交わりを中心に、多文化共生まちづくりの問題を具体的に捉え、その問題解決のための活動を企画・実施します。

②コミュニティの情報発信！レク龍プロジェクト

担当者 久保 和之



滋賀県レクリエーション協会の広報活動について、広報誌の編集発行作業・ホームページの管理運営などの仕組みや内容を学ぶとともに、現状の問題点を探り、解決に向けて企画・運営していきます。

③農福連携で地域をつなぐ

～「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」～

担当者 坂本 清彦



障がい者、高齢者、生活困窮者らが農業に携わる「農福連携」を通じて、多様な人々が地域社会とつながり、いきいきと暮らせる共生社会の実現に向けた課題発見、解決のための企画・実践をめざします。

④お寺の可能性を引き出そう！

～社会におけるお寺の役割を考える～

担当者 猪瀬 優理・古莊 匡義



いまお寺では、仏教に関わりのない人も参画して、地域の居場所やつながりをつくる活動が行われています。そうしたお寺の社会活動に参加しながら、地域におけるお寺の役割と可能性を考えます。

⑤いくつになっても、出かけられる！

～高齢者を元気にする介護ツアー企画～

担当者 高松 智画



介護が必要な高齢者に楽しんでもらえる日帰りツアーの企画から実施、評価を行います。基本的な介護技術を習得するとともに、高齢者を取りまく課題などについて考察します。

⑥障がいがある子どもたちの放課後支援

担当者 土田 美世子



放課後等デイサービスでの活動を通じて、障がいがある子どもとの具体的な関わり方、放課後支援の意義を学び、障がいがある人と共に生きる社会について考えます。

⑦自治体をPRしてみる！

担当者 岸本 文利



地域の魅力を映像ツールでPR。映像制作スキルは放送局OBが指導します。舞台は大阪・門真市と滋賀・高島市の棚田。何をPRすれば面白いかは一緒に考えます。社会で通用する広報力を磨きます。

<「社会共生実習」公式Webサイト・SNS一覧>



社会共生実習
Webサイト



社会共生実習
X (旧Twitter)



社会共生実習
Instagram



社会共生実習
Facebook